

## 手づくり活動の楽しさ

### すばらしさ(2)

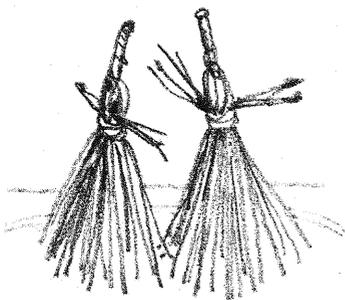
浜本昌宏

## 松葉であそぼう

パタパタと玄関に駆け込む音。「おじちゃん、遊びをおしえて」と元気のよい孫達の声が飛び込んできました。

庭に松の樹があったことから、庭に出て、松の枝の先を折り、輪ゴムで束ね、裾の方をハサミで平らにし、腕の部分として葉を横に挿しこみ、図のような力士を一緒につくりました。

土俵は、紙箱の蓋を裏返して、その上に円形を描いたものです。



さあ、始まりはじまり。

テレビで連日の大相撲を見ていることから、イメージは充分です。「ヒガーシ……」「ニイーシ……」の呼び声から、「はっけよい」「はっけよい」。

土俵を指でたたいて、その振動で松葉の力士は動きま

す。

孫達はトントントン「あつ、やられた」。「もう一回」と夢中で勝負に挑みます。倒されないように足を広げたり、角度をつける等の、工夫がみられ、ひとしきり遊びに興じました。そのうち、土俵上でくるくる回る姿から、これはダンスだね、ということになり、つぎは、手と手をつないだ一組のペアが華麗に舞うダンス大会に変更。

これも、遊び終わったら、松葉を引つ掛けあつてのひっぱりっこ。色艶よく、丈夫そうな形の葉を選んで、さあ、勝負、勝負。  
(元・三重大学)

